

# 平成29年度決算報告 町の家計簿をお知らせします

平成29年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、歳入・歳出ともに前年度を下回る規模となり、決算収支については黒字決算となりました。

平成29年度は、前年度から引き続き「道の駅(新)新鮮市場棟建設事業」を実施し、昨年4月に完成。さらに、(旧)新鮮市場棟を改装した「はっこう茶房」が今年3月にオープンしました。今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

## 一般会計

歳入総額は、27億9262万4千円（前年度比3・1%減）、歳出総額は、26億1416万4千円（前年度比1・0%減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、1億6255万1千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、1億8224万8千円を積み立て、年度末の残高は14億2465万2千円（前年度比14・7%増）となりました。

## 歳入

歳入の25・3%を占める町税収入は、個人町民税や軽自動車税の増収により、前年度に比べ409万4千円（0・6%）の増となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は9億5104万2千円で、前年度に比べ3684万8千円（3・7%）の減となりました。地方交付税と町税で歳入全体の59・4%を占めています。

## 歳出

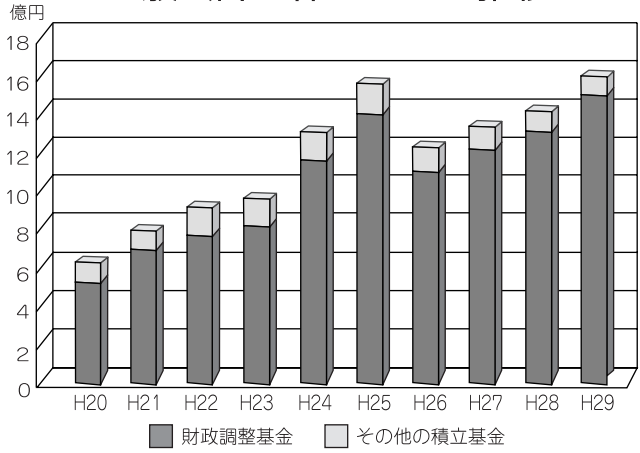
国県支出金（国や県からの補助金など）は、道の駅関連事業の減少などに伴い、前年度に比べ5791万4千円（13・9%）の減となり、町債も2170万1千円（15・9%）の減となりました。

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が19億464万6千円（前年度比0・0%）で、全体の72・9%を占めています。

道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は2億6106万7千円（前年度比33・7%減）で、全体の9・9%です。

財政状況では、財政調整基金の残高が増えるなど、行財政改革の成果があがってきている一方で、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などのうち、経常経費として使われる割合）が90・0%まで上昇し、余裕のない状況であることから、持続可能な財政運営のため、さらなる経費の節減に努めていきます。

一般会計に係る基金の推移



## 平成29年度に実施した主な事業

- 道の駅(新)新鮮市場棟建設事業 (28年度からの繰越分) 7022万円
- 道の駅(旧)新鮮市場棟改装事業 1466万円
- 町道成田神崎線整備事業 2109万円
- 研修バス更新事業 2948万円



道の駅(旧)新鮮市場棟改装事業